

有  
松  
ま  
ち  
ち  
歩  
き

# 「和やか鯨城」

2026年5月1日(金)

小雨の天候の中、参加者34名、金山集合(一部の方現地集合)にて、名鉄電車で現地場所の有松駅に到着。10時00分より「有松まち歩き」スタート……

散策中の前半は雨も止んでいましたが、終盤はやや降られました。参加者34名が7人前後のグループに分かれ、5名のガイドにより散策開始です。




有松に建て並ぶ街並みは、多くが国・県・市の「有形文化財」に成っています。以前は道路端に立ち並ぶ電柱は、黒塗りで景観を壊さないようにしていましたが、現在は電線を地中に埋められたため街並みが随分綺麗になりました。

**① 竹田家住宅** (竹田嘉兵衛商店)

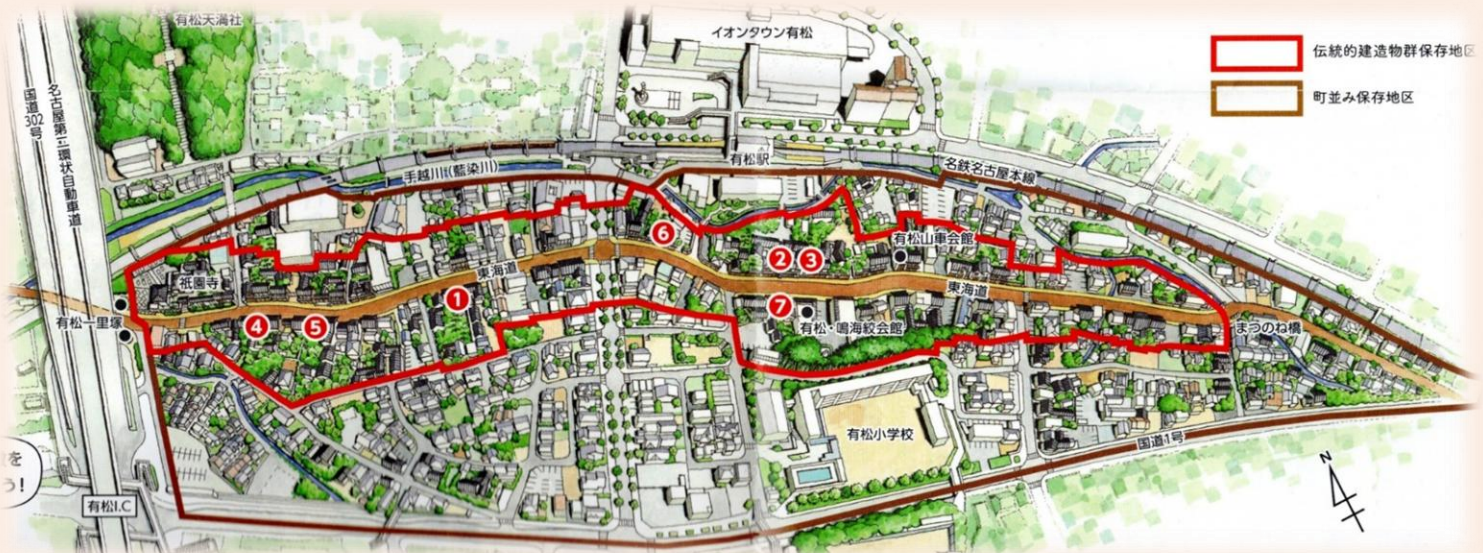
◆市指定有形文化財 ◆主屋:江戸末期建造

竹田家は、寛保年間(1741-1744)に紋業を営んでいた竹田嘉七郎に始まると伝えられています。時代とともに改造されながらも、江戸末期の様式を継承した主屋、14代將軍徳川家茂が訪れたとされる茶室「裁松庵」、明治から大正にかけて整備された土蔵群や洋間、書院座敷、門、塀等が現存し、有力な紋商の屋敷構えの典型例をみることができます。



**Point!** ガス灯

明治期のガス灯の名残



## ① 竹田家住宅

絞商の町屋建築を良く残した、有松東海道を代表する建物のひとつ。

主屋 1 棟・蔵 3 棟・茶室 1 棟・26 畳の書院造りの座敷からなる。二階の壁は黒しっくい塗ごめ造り、ひさしには明治期のガス燈が乗り、当時の商家の繁栄ぶりを細かく今に残している。

向かって右横の塀の長さは、70mもの長い塀が続きます。



### ⑤ 街道沿いの店構え



小田切春江 有松絞店丸屋丈助店先 (名古屋市博物館蔵)

昔は街道沿いに大きく開放された店構えでした。格子を建て込んだ現状は、近代以降だとわれています。



## ⑤ 岡家住宅

江戸末期の建造で重厚な建築形態を良く残した建物で主屋の間口は有松でも最大級である。主屋 1 棟・作業場 1 棟・蔵 2 棟の構成で、連子格子・なまこ壁・虫籠窓・塗ごめ造りをよく残している。2 階のひさし下の塗ごめ造りが波状になっているのがこの家の特徴となっている。街並みで唯一建物公開をしています。



1 反13m の絞りが数多く保管されていた反物が展示されています。

## ■ まちの成り立ち

有松は、慶長 13 年(1608)、東海道の鳴海宿と池鯉鮒宿(ちりゅうじゅく)の間に尾張藩によって開かれました。東海道を往来する旅人の土産物として絞り染(有松絞)が考案され、以降、有松絞と共に有松の町は発展しました。

天明4年(1784)の大火により村の殆どが焼失しましたが、尾張藩の援助もあり、20年程でほぼ復興したと伝えられます。

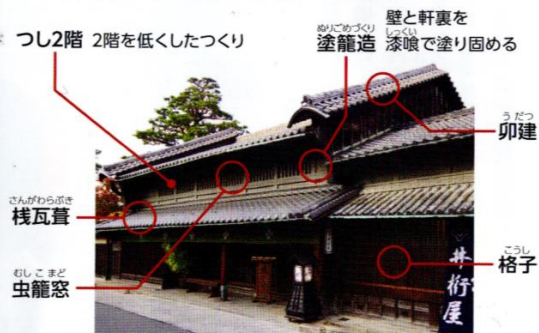


歌川広重 東海道五十三次鳴海(名物有松)

明治維新以降、東海道の往来者が大きく減ったことなどから、有松絞は著しく衰退しました。しかしその後新たな意匠や製法の開発、卸売販売への業態転換などによって再興、明治後期から昭和初期にかけて最も繁栄しました。

東海道沿いには、今なお絞り商の豪壮な主屋をはじめとする数多くの伝統的な建物がのこり、有松絞によって繁栄した往時の様子を今に伝えています。

### 代表的な絞商の主屋の特徴



### 2 服部家住宅 (井桁屋)



◆県指定有形文化財 ◆主屋:文久元年(1861)建造

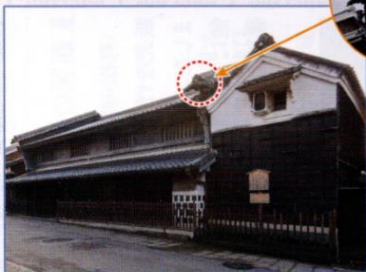
服部家(井桁屋)は、寛政2年(1790)に創業した絞商です。敷地の間口は、有松の中で最大であり、江戸末期から明治30年代にかけて整備された建物が数多く残っています。

主屋、絞りの原材料や米を貯蔵するための蔵、接客用の書院座敷などが建ち並び、有力な絞商の屋敷構えを今なおよく残しています。

Point! 敷地間口約45m!

主屋の脇に塀・門・土蔵が連なる。敷地間口は有松で最大

### 4 小塚家住宅



Point!

うだつ 卯建

有松では数少ない卯建の上がる家

◆市指定有形文化財 ◆主屋:文久2年頃(1862)建造

小塚家が有松に居を構えたのは、寛文年間(1661-1673)と言われています。卯建をあげる主屋が特徴的で、主屋、水屋、表蔵、南蔵、茶室等の絞商の屋敷構えが一式で残っています。明治期まで絞商を営んでいました。



この小塚家のすぐ近くの道の入り口にはこんな案内が有り、このように記載してあります。

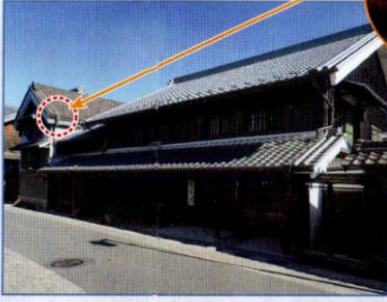
長坂道 ながさかみち

.....東海道より古い道

「桶狭間道」「刈谷道」とも呼ばれ、江戸時代よりあった古道。

紺屋(こうや)の染場や絞り職人さんの家々が並んでいました。

## 6 中濱家住宅



**Point!**  
軒瓦に山ヨ  
山田家が  
所有していた  
ころの名残

◆国登録有形文化財 ◆主屋：明治中期頃建造

当初は絞商の山田与吉郎家の建物であり、平成16年(2004)からは中濱家(中濱商店)の建物として使われています。土蔵の軒先の瓦に「山ヨ」の印が入っており、山田家が所有していた頃の名残が感じられます。



## 6 中濱家住宅

裏口はVIPな客の専用口(写真はWebより)

## 7 棚橋家住宅

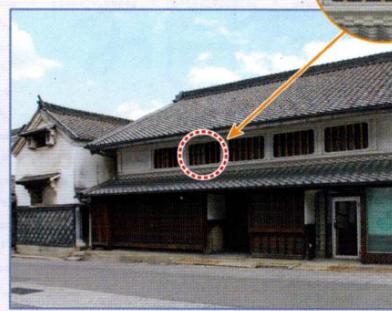


**Point!**  
鐘馗様  
邪気から  
家を守る  
存在

◆国登録有形文化財 ◆主屋：明治9年(1876)建造

有松を代表する絞商(大井桁屋)の建物として建てられ、昭和8年(1933)からは棚橋医院として約50年間使われてきました。平成23年から3年かけ、屋根の葺き替え、座敷の復原、耐震補強などの大がかりな改修を行いました。

## 3 服部良也家住宅



**Point!** 虫籠窓

格子に金属製の丸棒を使用  
◆県指定有形文化財(土蔵)  
◆主屋：明治28年(1895)建造

明治期に創業した絞商(井桁一)の屋敷の大部分が当時のまま残っています。虫籠窓の格子に金属製の丸棒を使用することは、明治期以降にみられる主屋の特徴の一つです。塗籠造、なまこ壁をもつ主屋西隣の土蔵の重厚な外観は行き交う人の目を引きま



最後は絞り会館に集合し、  
1時間30分のガイドにより「有松まち歩き」も終了です。  
多くの参加者様有難う御座いました。